薬科学研究科

生命薬科学専攻（修士）

ディプロマ・ポリシー

1）生命薬学分野では、2年以上在籍して研究指導を受け、生命薬学分野の教育方針に沿って設定した授業科目（実習を含む）を履修して30単位以上を修得し、かつ修士論文を提出し、所定の試験に合格することで、学位が取得できる。

2）医療薬学分野　がん薬物療法学領域では、2年以上在籍して研究指導を受け、がん薬物療法学領域の教育方針に沿って設定した授業科目（実習を含む）を履修して30単位以上を修得し、かつ修士論文を提出し、所定の試験に合格することで、学位が取得できる。

3）医療薬学分野　臨床薬学領域では、2年以上在籍して研究指導を受け、臨床薬学領域の教育方針に沿って設定した授業科目（実習を含む）を履修して30単位以上を修得し、かつ修士論文を提出し、所定の試験に合格することで、学位が取得できる。

4）薬科学研究科修士課程では、基礎薬学、生命薬学、薬理学、ゲノム分子生物学、創薬などの分野における探求能力、研究能力の習得、または臨床薬学、医療薬学分野の研究能力、実践能力を習得することで、学位が取得できる。

【注意】
・修了要件は各分野・領域ごとに異なる

	共通科目	専門科目		
		講義科目	演習・実習科目	研究指導科目
	医療福祉に関する高度な学術知識を身に着ける	自らの専門分野における研究の基礎となる知識を修得する	高度専門職としてのスキルを修得する	学位に相応しい研究を遂行し、成果をまとめる
1年次 前期	・修士課程のための研究法入門 ・統計学 ・統計学入門 ・医学データ解析入門 ・生物統計学概論 ・教育学概論Ⅰ・Ⅱ ・精神神経障害学 ・疫学特論 ・臨床心理学概論 ・質的研究法概論 ・医療経済学概論 ・医療福祉政策・管理学概論 ・英語論文執筆特論 ・医療情報システム概論 ・がん医療総論／各論 など	臨床医学特論Ⅰ 臨床医学特論Ⅱ 薬物治療学特論 ゲノム分子生物学特論 がんの基礎薬学 基礎腫瘍学 がんの薬物療法学 臨床腫瘍学Ⅰ 臨床腫瘍学Ⅱ 緩和薬理学 など	生命薬科学総合演習Ⅰ など	生命薬科学特別研究
1年次 後期				
2年次 前期		臨床医学特論Ⅰ 臨床医学特論Ⅱ 薬物治療学特論 ゲノム分子生物学特論 がんの基礎薬学 基礎腫瘍学 がんの薬物療法学 臨床腫瘍学Ⅰ 臨床腫瘍学Ⅱ 緩和薬理学 など	生命薬科学総合演習Ⅱ など	
2年次 後期				

・研究遂行の基礎を修得する
・研究倫理に関する知識を身に着ける
・研究計画を策定する

・演習を通じて、専門職としての技能を修得する
・データを収

・修士論文にまとめる

研究発表会

学位論文審査

修士学位論文

学位取得